

九州ITS利活用研究会 概要紹介

QPITS / Pactice group of ITS in Kyushu

2012年4月

QUEST
九州組込みソフトウェアコンソーシアム
「西鉄情報システム株式会社」
浦 正勝

はじめに

地域ITS情報を総合的に利活用し、すべての人にやさしく、災害時にも強いスマート社会づくり

スマートシティ・・・私たちは、エネルギーの有効活用や自治体によるクラウドだけではなく、地域に密着したITS(Intelligent Transport Systems / 高度交通システム)情報を総合的に利活用し、高齢者や海外からのお客様も含めたすべての人に対してやさしく、災害時にも強い地域社会情報基盤づくりができてこそ、実現できると考えています。

従来、ITSは自動車を中心として交通安全、渋滞対策、環境対策などを主な目的として、人と車と道路とを情報で結ぶ技術として発展してきました。すでにEV(電気自動車)だけではなく、多くの一般車両に対して実用化されており、医療や農業の分野でも利用しようという動きがあります。

QPITS(九州ITS利活用研究会)では、このITSを「人の動き」を支援するシステムととらえ、事業者の枠を超え共有可能な地域内の公共交通機関からのITS情報、地域の観光、商業、防災などの情報(コンテンツ)を加え、これらを相互に利活用することにより、地域経済の発展に寄与しながら、「すべての人にやさしく、災害時にも強い」スマート社会づくりをめざします。

自動車を中心としたITS

ETC	渋滞情報
カーナビ	位置情報



人を中心にした新しいITSによるスマート社会づくり

ITS情報	運行情報	観光案内	多国語
災害情報	商業情報	プローブデータ	パーソナリティ

地域に密着した情報(コンテンツ)の相互利活用

研究会メンバー

交通(バス、鉄道、タクシー、船舶)、駐車場、観光、物流、自動車、エネルギー、通信キャリア、放送局など、人およびモノの動き、およびそれに関連する情報サービス、機器、技術を手がける主に九州域内の民間企業、大学および行政機関 65社・団体、90名が参加し、毎回非常に活発に議論しています。

今後、商業施設、医療に関連する企業、団体にもご参加頂く予定です。

九州地域中心のオープンな活動に務め、参加制約は設けていません。

リーダーシップ

顧問:	QUEST理事長(福田 晃/九州大学 システム情報科学研究院 教授)
座長:	西鉄情報システム株式会社(浦 正勝/部長)
副座長:	株式会社ネットワーク応用技術研究所(芦原 秀一/取締役)
副座長:	九電ビジネスソリューションズ株式会社(下津 利裕/部長)
事務局:	QUEST事務局

推進グループ体制

2012年4月より以下5つの推進グループ構成として、早期の事業化を目指しています。

グループ0(企画・調整グループ):QPITS全体の事業化、規約・会則の策定などの企画・立案を推進するとともに、各グループ間の調整、協議会設立や国際会議に向けた準備などを担当。

グループ1(センサグループ):域内に設置する新規のセンサなどを使った情報収集の推進を担当

グループ2(コンテンツグループ):域内団体が所有する各種コンテンツの収集の推進・整理を担当

グループ3(利活用基盤整備グループ):QPITSのコアとなる複数の企業・団体やデータセンタにまたがった利活用基盤の整備、技術の確立について担当

グループ4(実践サービス推進グループ):整備される利活用基盤の有効的なサービス事例を実証として推進

地域ITS利活用情報基盤のグランドデザイン

一般利用者及び交通弱者へ情報提供



デジタルサイネージ
スマートフォン

一般企業及び官公庁自治体へ情報提供



パソコン

地域情報提供サービス

インターネット／モバイル網とつなぐ「ゲートウェイ」の共通データ仕様

九州地域ITS利活用情報基盤

高齢者など交通弱者・外国人観光客も効力した地域の「人の動き」を支援する情報

車両情報

プローブ情報

ヒヤリハット情報

環境情報

パーソナリティ情報

観光案内情報

商業関連情報

災害情報

情報ソースとつなぐ「ゲートウェイ」の共通インターフェース仕様

会員情報(観光・買い物、グルメなど)、車載情報(位置・乗車・降車・速度など)、公共交通機関情報(ルート、時刻、交通渋滞、緊急案内など)、地域情報(天気、観光、イベント、防災・警察など)

情報収集

新しいセンサを
活用した情報収集

官公庁
からの情報

商店や観光地
などからの情報

従来の
ITS情報

各事
さまざま

各事業
さまざま

各事業者ごとの
さまざまなサービス



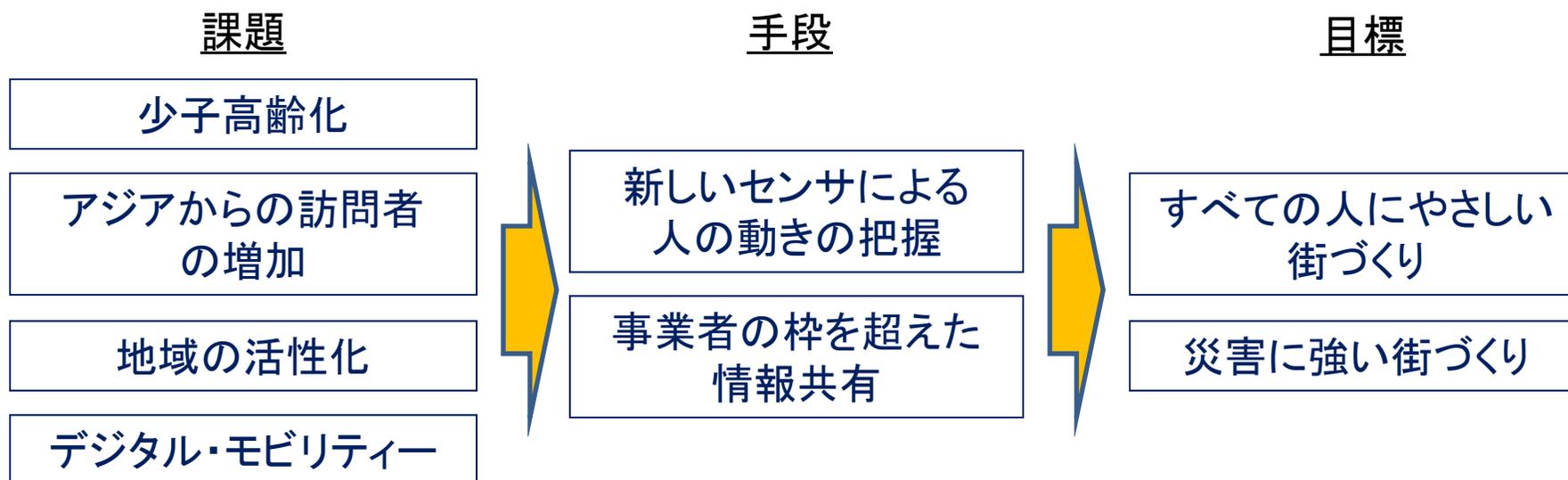
地域の特徴と目指す方向

福岡・博多地区は、東京など日本大都市圏のように鉄道のみで移動できる地域(日本型大都市)、あるいは自動車のみで移動することを基本とした地域(欧米型大都市)と異なり、バス、鉄道、高速鉄道、タクシー、自動車、自転車、空港、港湾がコンパクトな地域に集積した今後のアジア型大都市の典型的な姿であるといえます。

多くの若い学生・生徒から年配の方々が住む発展を続ける大都市である一方、九州のみならず日本全域および外国から多くのお客様も訪問する地域でもあります。

しかしながら、平時だけではなく災害発生時にもスムーズに移動できる「安全、安心できる」街づくりができているとはいえ、ITSを活用した「交通」「地域情報」「観光」「災害対応」「地域医療」に関する新しいシステム(人を中心に考えたITSスマートタウン)をつくり、地域全体の経済活性化を目指していきます。

多くの人暮らしの街の「全体最適」を志向し、アジアを見据えた融合システム作り



参加社所属会社・団体名(2012年3月末時点)

	所属会社・団体名		所属会社・団体名		所属会社・団体名
1	九州大学	18	コアラ	35	西日本オートメーション
2	九州科学技術先端研究所	19	CJK	36	日本テクノストラクチャア
3	長崎県産業労働部	20	シーテック	37	日本ユニシス
4	福岡県産業・科学技術振興財団	21	システムラボラトリー	38	日本無線 九州支社
5	福岡県庁商工部自動車産業振興室	22	システムワークス	39	ネットワーク応用技術研究所
6	福岡市役所 経済観光文化局	23	シティアスコム	40	パナソニックシステムネットワークス
7	RKB毎日放送	24	新川電機 九州支社	41	パイオニア・ソフト
8	IT企画	25	JR九州パトニ・システムズ	42	BBDO J WEST
9	アクセントキーテクノロジー	26	住友商事九州	43	PicoCELA
10	e-セレス	27	ソフトバンクモバイル	44	福岡CSK
11	MIP	28	デンソー九州	45	福岡情報ビジネスセンター
12	OKIソフトウェア	29	電盛社	46	マイクロコート
13	キャッツ	30	電波新聞社	47	安川情報システム
14	九州テン	31	トラストパーク	48	USC
15	九電ビジネスソリューションズ	32	東京コンピュータサービス	49	ライフ・インフォメーション・プロジェクト
16	経営基盤デザイン	33	西鉄エム・テック	50	リーボ
17	コア	34	西鉄情報システム	51	菱洋エレクトロ

事業者の枠を超えた地域密着コンテンツの統合

観光情報
(多言語)



地図情報
GPS情報
センサ情報
ITS情報

基本技術

- 自然言語技術(検索)
- AR技術(仮想現実)
- 複数のデータセンタにまたがったコンテンツの収集・収納技術など

ショッピング
情報
レストラン情報
レンタサイクル



域内の時刻表
情報
(平常時)
(リアルデータ: 将来)



QPITSは

- 従来の地域統合ウェブサイトではない
- 単なるポータルサイトではない

駐車場情報
道路情報



公共交通機関
情報
(非常時)



地域密着の情報コンテンツ共有基盤

サービスは自社付加価値を加え、各社がユーザに合った形で提供

目標スケジュール

2012年秋	初期サービス提供開始
2013年10月	第20回ITS世界会議東京2013での発表

会合について

全体会合(月1回)と、グループ会合(月1~2回)により構成されます。

第6回全体会合予定(原則毎月第二火曜日開催)

2012年5月8日(火曜) 16:30 - 18:30

会場: 西鉄情報システム株式会社 (福岡市博多区千代四丁目)

☆ 参加人数が増えてきているため、会場を変更する場合があります。

参加申し込み

この研究会はオープンな活動を目指していますので、QUEST会員である必要はありません。但し研究会会員への登録は必要です。(参加無料)

※参加者を明確にするため、会員登録と毎回の会合申し込みの両方が必要ですのでご注意ください。

※九州ITS利活用研究会のみに参加の場合、その他のQUESTの情報へのアクセスに制約がある場合があります。

申し込み先: NPO法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム 事務局(原野、瓜生)

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル 307号室

<http://www.quest9.sakura.ne.jp/quest/doku.php?id=qits>

TEL/FAX: 092-846-1600 E-mail: register@quest9.org